



関東学園大学 教員 花田 敬(ハナダ タカシ)

～弊社取締役が活動する場は多種多様。
そこで「今」起きていることをお伝えします～

関東学園大学には「経営・会計コース」があります。このコースの就職先の業種としましては、卸・小売業などのです。そこで、教務課から依頼がありました。「営業や販売のプロになるための科目をおき、実務経験をされた方をお願いできれば学生にとってこれに勝る教育はないと考えております。」と。このような経緯で私は2010年4月～関東学園大学で教鞭をとっています。担当しているのは前期の「営業プロセス」が2単位、後期の「営業アイデア」が2単位です。授業では、模擬体験(ロールプレイング)を中心にしております。受講した大学生の声を紹介したいと思います。

<学生の感想>

私は、はじめ営業に関して全く興味がありませんでしたが、私は先生から学んだ手法は営業の場だけではなく、社会にでてからの幅広い分野で活用できるとしております!一年間ありがとうございました。もうこの授業が受けられないと思うと寂しい気持ちもありますが、先生から学んだことを社会で存分に発揮していきたいと思っております。

いかがですか? 大学生でも営業の授業は役に立つようです。



自分の子供より若い学生に囲まれて



暑中お見舞い申し上げます

今年も夏真っ盛りの時期を迎えましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか?
弊社では、昨年来「相続」をテーマにいくつかの試みをして参りましたが、ここに来てその流れが大きく加速しているのを感じます。

まず、昨年から私が講師を務め展開している全国のFP向けの「相続資産コンサルタント養成講座」。既に400名を超える受講生を輩出し、そのメンバーが全国の手続きメーカーや工務店、葬儀社、お寺などとタイアップして、「相続セミナー」を開催し、各地で好評を得ています。

また、弊社でも大手電機メーカー、住宅関連会社、旅行代理店などが主催する「相続セミナー」の講師を務め、多くの相続対策のご相談をお受けしています。

今年の相続税改正、来年のマイナンバー制と巷では資産管理をどうしていくか、税金といかに向き合うかという意識が高まり、我々FPの出番がさらに多くなりそうです。

相続対策、資産運用などのご相談があれば、お気軽に弊社にご連絡ください。

株式会社キーストーン 代表取締役 石野 毅

F P的視点で人生設計を考える



～まさかのときに慌てない心の習慣を身につける～

今回は人生には3つの坂があるという話をさせていただきます。
何をやっても順風満帆で、やることなすことすべて上手くいくという「上り坂」。
地道に努力をしても報わず、転がり落ちるようにズルズル後ずさりせざるを得ない「下り坂」。
人生は、まさしく「上り坂」と「下り坂」の繰り返し。

でも、一番厄介なのが、順風満帆で一本調子に上っていると思っていた坂から、あることをきっかけに一瞬のうちに奈落の底に突き落とされるという「まさか」という坂。

私たち金融の世界に身を置くものとして忘れられない経験だった「まさか」は、あのリーマンショックの時。一夜にして多くの財産を失い、なすすべもなく下がり続ける相場に狼狽する投資家を目の当たりにしました。そして今、日経平均株価は2012年年末から一本調子で上がり続け、この2年半で2.5倍近くの水準に達しています。金融の世界に限らず、人生においても好調な時ほど慎重に、おごらずたかぶらず平穏な気持ちを保つことが肝要なのかも知れません。そして、「まさか」という坂は人生のなかで自分に大きな学びを与えてくれる時期だと思えば、心の持ちようも変わってくるのではないのでしょうか。(文責:石野)

大手企業からの要請多数! 相続セミナー続々開催中

ここ数年、弊社は相続というテーマを中心業務に据えて活動していますが、特に今春からは大手企業とタイアップして相続セミナーを開催する機会が増えています。相続の悩み・問題を解決することによって、お客様満足度を上げたいとお考えの企業様から、セミナー開催をご依頼いただいています。

代表的な例で言いますと、パナソニック様とは大阪市北区のグランフロント南館にある同社ショールームで3月から毎月セミナーを開催しております。パナソニック様の取引先で、太陽光発電で有名な株式会社ゴウダ様や、地域密着の工務店様とも相続セミナーを実施しております。遺産分割や相続税の問題だけでなく、晩年を住み慣れた自宅で迎えるためにどんな準備をすればよいかなど、ライフプランの観点からもお話をさせていただいております。7月からは旅行会社・クラブツーリズム様主催のセミナーも東京と大阪でスタートしています。

これらセミナーの一部は、弊社のお客様でもご参加いただけます。このニュースレターやホームページで随時情報を掲載していきますので、ご興味のある方はお電話やメールでお問い合わせください。

(文責:羽生)



JR大阪駅近くの好立地にあります。



毎回たくさんの方にご受講いただいております。

相続と不動産は不可分!! ~不動産FPの視点で相続を考える~

東京オフィス開設以来、多くの相続についてのご相談を承っております。平成25年度税制改正で、本年1月1日以降の相続について大きく税金が変わったことも要因の一つですが、相続問題の本質は不変です。

それは「争族(あらそうぞく)」を避けたいということです。相続対策には、大きく分けて二つのステージがあります。

第一ステージ：生「前」対策

ここでもっとも重要なことは、資産について正當に評価して「資産一覧表」を作成することです。ご自宅をはじめ、資産の中に占める不動産の割合が高ければ高いほど正當な評価は、専門家に依らなければ「資産」のズレが生じ、的確な無駄のない対策は困難になってしまいます。余分な対策の結果、「争族」になっては元も子もありません。我々は、正當な評価をすることで無駄のない、安心できる生前対策のお手伝いをさせていただいております。

第二ステージ：相続「後」対策

・生前の対策をしていなかった、もしくは、したけれどもむしろ争いの元となってしまった。
・相続税の申告では、不動産の評価を「教科書通り」にして多大な税金を払わないといけなさそう…等々。

往々にして相続「後」の対策は出来ないと思っ
たらっしゃる方も多いのですが、我々相続・不動産の
専門家から見ると出来る場合も多いのです。

例えば、形のよい正方形の土地でも、「道路付け」



ひとつで評価は大きく変わります。また、不整形地に
数戸の貸家をお持ちのケースでは、土地を測量して、
分筆して…などとアドバイスされる専門家?も
いらっしゃるようですが、分筆しなくても(費用と
時間をかけなくても)経験豊富な税理士さんと
チームを組むことで税金を下げることもできました。
また、相続税申告後も不動産を再評価して支払った
相続税の還付を受けることも可能です。

東京オフィスでは、公認 不動産コンサルティング
マスターとして不動産に精通した津曲と、ともに
CFP®の白須、さらに法務、税務の専門家チームで
生前対策、相続後対策、適正な申告のお手伝いに日々
邁進しております。

全国津々浦々の不動産、相続のご相談もワンストップ
でお引き受けいたします。

あきらめないで!相続発生後でもご遠慮なくお声掛け
ください。必ず、お応えさせていただきます。

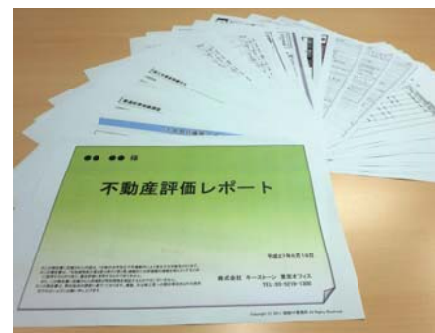
東京オフィス長 津曲 巖(ツマガリ イワオ)



境界を確認しています。



右手林の中に家があり、
このような土地は評価が下がりやすいです。



ご相談いただいた方にお渡ししているレポート

理論だけでは解決できない ~お客様もFPも人間だもの~

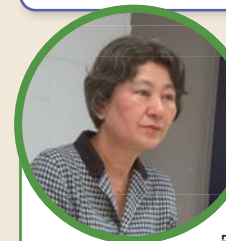
あるお客様の相続対策のご相談でのこと。
お子様やお孫さんにスムーズに資産を渡しつつ
相続税を抑える仕組みについて、自信を持って
説明していたのですが、お客様から返ってきたのは
「理屈では(その仕組みが)有効だとわかるん
だけどねえ…」。

その言葉の裏に「税金の損得だけでは物事は
進まない」という感情面の課題があることを改めて
教えていただきました。

2008年秋、私も皆さんと同じ立場、キースト
ンから見れば一人のお客様としてFP相談をしました。
その時の内容を細かくは覚えていませんが、お金の
心配をせずに子供たちが学業やクラブ活動に
打ち込める将来を思い浮かべながら資産運用を
始めたことは覚えています。当時から一人子供が
増えたので、再設計が必要ですが…。

資産の増減や節税など数字上の損得計算だけ
であれば、インターネットや書籍の情報で十分。
人間は感情の生き物であるからこそ、我々FPの
存在意義があるのだということを今一度胸に
刻みたいと思います。

ファイナンシャルプランナー
羽生 信彦(ハシウ ノブヒコ)



安孫子 仁美(アビコ ヒトミ)

たくさんの後悔から授かった「若い人に伝えたいこと」

~介護を終えて復帰したスタッフ安孫子(アビコ)へインタビュー~

-20年間、介護をしていたのですね。

この間の思い出が全くないんです。楽しい時間も
あったはずなんですけど…(笑)。

-自分のことは後回しになりますもんね。

とにかく余裕がないんです。毎日何が起るか
わからない。不安だらけです。してあげたいことが
一杯あるから、頑張る。でもそれが続くと体力的にも
精神的にもどんどん擦り減っていくんです。

-「こうしておくべきだった」と思うことは何ですか?

体力、精神、時間。あらゆる面で元気で余裕のある
若い時期から考えておくべきことは考え、準備できる
ことは準備し、不安要素を1つでも減らしておく。
そうしておけば、余裕が生まれます。介護に後悔は
つきものですが、あの時にもう少し余裕があれば
もっといい選択ができたのではないかと、自分も

もう少し楽だっただろうなと思いますね。

また、介護が始まるとお金がかかりますから、
その準備も大切です。経済的な安心は、心の安定に
つながりますから。

今の若い方を見ていると、ライフプランをきちんと
考えていらっちゃって素晴らしいです。これは将来の
お守りになります。何事も早め早めに考えておく。
そして「今」を大切に過ごしてほしいですね。



介護歴20年の安孫子(左)に介護歴1年の野田がインタビュー。